

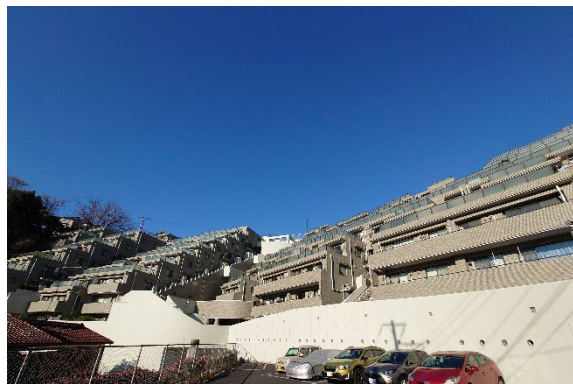


ソフト+認定

ハード認定

パーク・ハイム金沢文庫

よこはま防災力向上マンション



基本情報

- ① 金沢区釜利谷東三丁目
- ② パーク・ハイム金沢文庫
管理組合 防災委員会
- ③ 地上4階、地下7階
- ④ 78戸
- ⑤ 既存・分譲

ハード認定の概要

【耐震性】

平成4年竣工

【浸水対策】

一部に内水浸水リスクが認められるため、電気室内の機器はフロアレベルより高く設置。また、緊急時には止水板によりマンション上部からの流入を防止

【防災倉庫】 機材使用目的ごとに4箇所の防災備蓄スペースを確保

【防災資機材】 カセットボンベ発電機、投光器、AED含む救命救助資機材、簡易トイレ用凝固剤・ポリ袋等



▲ 電気室内の様子



▲ カセットボンベ発電機

ソフト+認定の概要

【防災組織】

管理組合の下部組織として「防災委員会」を設置<実効性・迅速性・継続性>を基本方針として平時の備えに取り組む。発災時には、委員メンバーを中心に「災害対策本部」を組織し、誰でも参加・行動できる体制により共助活動を実施

【防災マニュアル】

総合版／組織版／家庭版マニュアルを作成
組織版マニュアルは、「行動チェックリスト」「詳細マニュアル」「TOOL」の構成で実効性を確保

【防災訓練】

定例訓練（消防訓練、地域防災拠点）の他、年度毎に検討・企画したマンション内訓練を実施（令和4年度：防災備蓄品・資機材使用チェック／住民防災説明会）

【飲料水等の備蓄】

飲料水（最低3日分、できれば7日分）／食料／災害用トイレ（凝固剤）を各戸で備蓄

【地域との協力体制】

近隣の町内会5者で構成する地域防災拠点運営委員会の一員として地域防災拠点を運営。また、連携強化のため隣接町内会と「赤井3地区連携会議」を新たに設立

【地域との防災訓練】

地域防災拠点にて運営委員会として避難者誘導訓練等を実施

【地域交流活動】

「赤井3地区連携会」で年1回以上の定例会を実施。災害時の協力体制、夏祭り・イベントへの協力、子ども会等の連携

4 飲料水の備蓄

健康維持に必要な1日の水分の量は、成人男性で約3.5ℓ、成人女性で約2.5ℓ、子どもで約1.5ℓといわれています。この量を目安に、家族構成に合わせて、最低3日分、できれば7日分の飲料水を用意しましょう。賞味期限が切れても生活用水として活用できます。また、給水車等から水を運ぶためのポリタンクも、必ず準備してください

健康維持に必要な水分摂取量／1日目の目安

1日に必要な水分摂取量は、体重1kgに対し、加齢150ml、子ども100ml、大人50mlといわれています。

子ども（幼児） 体格	お母さん 体格	お父さん 体格
10kg	50kg	70kg
×	×	×
150ml	50ml	50ml
1.5ℓ	2.5ℓ	3.5ℓ



▲ 自助の備えを進めるための防災ハンドブック<家庭版>